

**みよし市**  
**まち・ひと・しごと創生**

**【総合戦略】**

**平成 28 年 3 月**

**(令和 2 年 3 月改定)**

**みよし市**

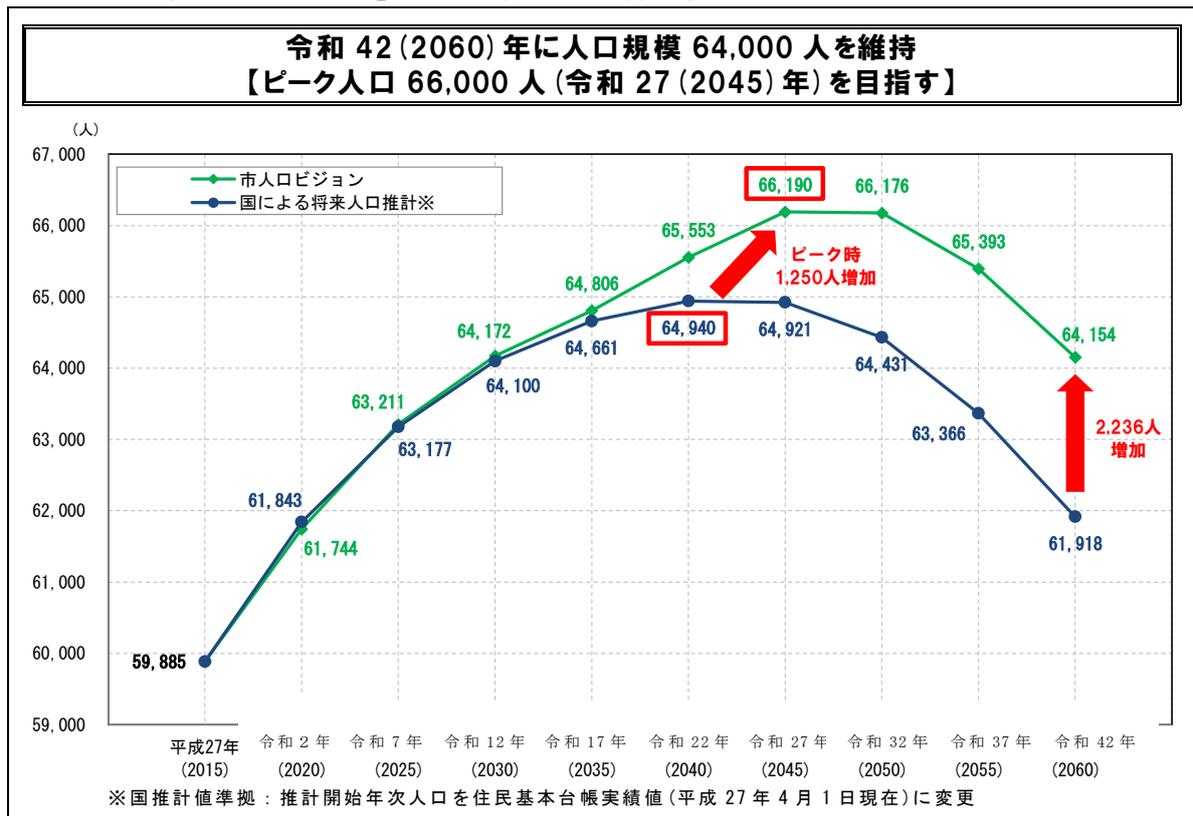
# 目 次

1. 総合戦略の目的	1
2. 総合戦略の位置づけ	
2-1. 国・愛知県の総合戦略との関係	2
2-2. 本市総合計画との関係	2
3. 計画期間	2
4. 総合戦略の推進	
4-1. 施策の評価と検証	3
4-2. 推進体制	3
5. 総合戦略の基本的な考え方	
5-1. 基本的な考え方	4
5-2. みよし市の強みと課題	4
5-3. 市民の意向	5
6. 重視すべき視点	9
7. 基本目標と施策	
基本目標Ⅰ：安心して子育てできる環境づくり	10
基本目標Ⅱ：暮らしたいと思える環境づくり	14
基本目標Ⅲ：誰もが健康に暮らせる環境づくり	18

# 1. 総合戦略の目的

- 本市の人口は、国勢調査によると昭和30年以降一貫して増加を続けています。また、人口3万人を突破した昭和60年から25年間で人口は2倍となり、さらに増加を続ける見込みです。
- 国立社会保障・人口問題研究所が平成25年に公表した国勢調査を基にした推計によると、本市の人口は令和22年まで増加が続くとされていますが、その増加率は鈍化していくとされています。
- しばらく人口が増加を続ける本市においても、全国的な人口減少の影響は避けられず、将来的には人口減少に転じることは確実です。このため、「人口減少が地域経済の縮小を呼び、地域経済の縮小が人口減少を加速させる」という人口減少の負のスパイラルが現れてからその人口構造を変え歯止めをかけるのではなく、将来的な人口減少や超高齢社会を見据えた対策を講じる必要があります。
- みよし市総合戦略は、【合計特殊出生率及び移動率の維持＝自然増を促進し社会減を抑制】を目指し、持続可能なまちづくりをめざすために策定するものです。

## ■「みよし市人口ビジョン」による総人口の将来展望



## 2. 総合戦略の位置づけ

### 2-1. 国・愛知県の総合戦略との関係

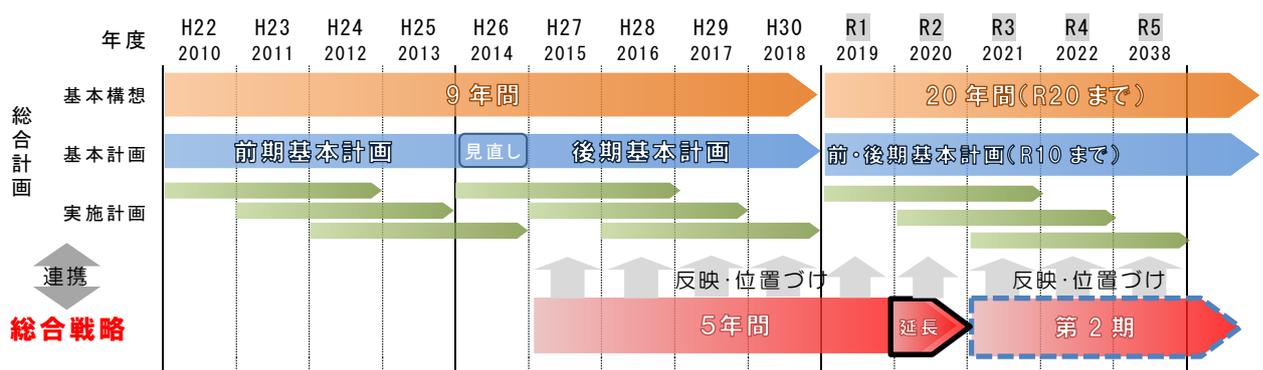
- 本総合戦略は、まち・ひと・しごと創生法に基づき国が策定した「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」、愛知県が策定した「愛知県人口ビジョン」及び「愛知県創生総合戦略」を勘案しつつ、令和42(2060)年を目標年次とした「みよし市人口ビジョン」で示した将来展望や方向性を踏まえ、みよし市としての地方創生の基本目標を示し、これを実現するために重点的に取り組むべき施策の展開の方向性を示すものです。
- とりまとめにあたっては、国が提示する「まち・ひと・しごと創生に向けた政策5原則 (1)自主性、(2)将来性、(3)地域性、(4)直接性、(5)結果重視」に対応した施策を位置づけるものとします。

### 2-2. 本市総合計画との関係

- 本市総合計画は、【みんなで築く「ささえあい」と「活力」の都市(まち)】をめざす将来像に掲げ、平成22年3月に平成22年度から令和年度を計画期間として策定しました。また、平成27年3月には中間見直しを経て総合計画後期基本計画を策定し、目指す将来像の実現のために各施策を実行しています。さらに、平成31年3月には【みんなで育む 笑顔輝く ずっと住みたいまち】を将来像に掲げ、令和元年から令和20年を計画期間とする第2次みよし市総合計画を策定しました。
- 本総合戦略は、総合計画で定めた基本構想や基本計画、実施計画との連携も図りつつ、人口ビジョンで設定した将来展望や方向性を実現するために、令和3年3月までの基本目標を定め、それぞれの目標を達成するための施策と、それを構成する主な取り組みを整理したものです。

## 3. 計画期間

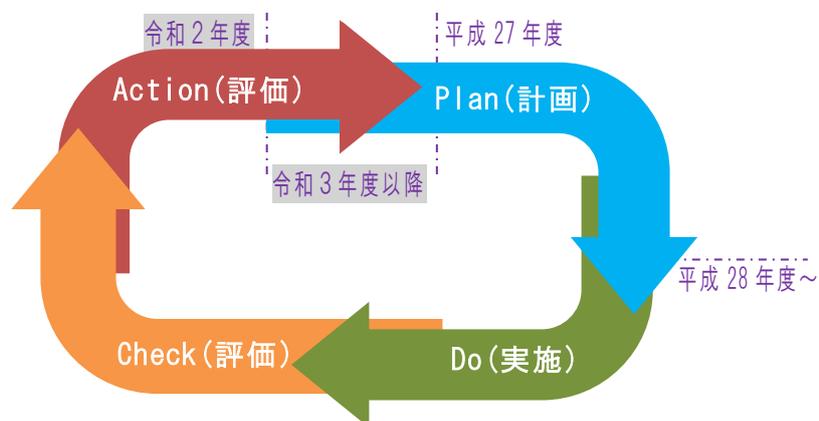
- 本総合戦略の計画期間は、平成27(2015)から令和元(2019)年度までの5年間を計画期間としていましたが、令和2年度に国や県の総合戦略を勘案した第2期みよし市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定するため、令和元年度に現行総合戦略の計画期間を1年間延長して令和2年度までとします。



## 4. 総合戦略の推進

### 4-1. 施策の評価と検証

- 本総合戦略で示した個々の施策については、重要業績評価指標(KPI)でその進捗や達成状況を評価し、適切な見直しや改善を加え次の事業につなげるため、PDCAサイクルに基づく管理を実施します。



### 4-2. 推進体制

- 本総合戦略は、外部有識者による「みよし市まち・ひと・しごと創生会議」や市民意識調査により、多様な市民の意見や意識を把握し策定しました。
- 本総合戦略の推進にあたっては、庁内で組織する「みよし市まち・ひと・しごと創生総合戦略・SDGs 推進本部」により、事業の推進及び実施状況を検証し、総合調整を図ります。
- また、市民をはじめ産業界や行政機関、教育機関、労働団体、金融機関の外部有識者で構成する組織を設置して、基本目標及び重点施策の達成状況と効果を KPI で検証します。これらの組織は、互いに連携を図りながら、本総合戦略の推進に取り組めます。
- なお、本総合戦略に位置づけた施策や事業の推進にあたっては、地方創生に係る交付金をはじめ国の財政支援制度等を積極的に活用していくとともに、原則として総合計画に基づく実施計画に位置づけ、本市財政状況を考慮した的確な予算措置のもと、実施していくものとします。
- 本総合戦略の延長にあたっては、庁内で組織する「みよし市まち・ひと・しごと創生総合戦略・SDGs 推進本部」により、事業の推進及び実施状況を検証し、新たな目標値を設定しました。

## 5. 総合戦略の基本的な考え方

### 5-1. 基本的な考え方

- 国は、平成 26 年 12 月に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現、東京一極集中の歯止め、地域の特性に即した地域課題の解決の 3 つの視点を基本に魅力あふれる地方の創生をめざすこととしています。
- さらに国は令和元年 12 月に策定した第 2 期総合戦略の将来像として、将来にわたって「活力ある地域社会」の実現及び「東京圏への一極集中の是正」を掲げています。
- また、人口減少の克服及び地方創生を実現するため、まち・ひと・しごとの創生に向けた政策 5 原則として「自立性・将来性・地域性・直接性・結果重視」を掲げ、この 5 つの政策原則に基づき施策を展開するとしています。
- 全国的に人口減少に転じる状況において、しばらく人口増加を続ける本市については、本市の強みを生かし、将来的な人口減少や超高齢化社会も見据え、**【みんなで育む 笑顔輝く ずっと住みたいまち】**をめざしていきます。

### 5-2. みよし市の強みと課題

- 平成 20 年をピークにわが国が人口減少社会に移行し、現在、東京圏を除く多くの自治体が人口減少に転じる状況において、愛知県は自然増・社会増の両方を維持しながら、人口増加を続ける数少ない県です。その中においても、本市は令和 22(2040)年頃まで人口の増加が続くものと想定しています。
- 日本屈指の産業集積・優れた雇用環境が整う愛知県において、本市は製造業従事者の比率が特に高く、昼夜間人口比率も 1.0 を上回る状況にあり、本県発展の一翼を担っているといえます。
- 本市の強みは、人口増加もさることながら、高齢化率が低いことと、15 歳未満(年少人口)の割合が高いことにあり、この若い人口構成は、本市の発展の源泉といえます。
- また、高い生産性を誇る製造業事業所の立地と完全失業率の低さに象徴される優れた雇用環境が、市民の所得及び本市の財政の源泉といえます。
- 一方、持ち家率は人口構成が若いゆえ全国平均より高いものの、県内においては低い方に位置づけられます。また、核家族世帯割合が高い傾向にあることは、超長期的な人口の安定には弱みといえ、また、高齢化の進行も確実となることから、各世代が安心して暮らしやすいまちづくりに取り組むことが重要です。

## 5-3. 市民の意向

---

○本総合戦略の策定にあたり、市民アンケート(18～49歳の男女、既婚者・未婚者計2,000人対象)を実施しました。

### ■結婚について

- ・未婚者の結婚意向は「結婚したい(77.1%)・結婚したくない(22.9%)」と【結婚を希望する】方が多い状況です。
- ・結婚希望者の結婚に対する不安は【経済面】【出産や子育て】【仕事との両立】をあげており、これらの不安に対する取り組みが重要です。
- ・結婚を希望しない方は「自由や気楽さを失いたくない」といったライフスタイルを理由とする方が多いものの、【出会いの機会がない】も多い状況です。

### ■出産について

- ・現在子どもがいない方の出産意向は「欲しい(64.5%)・欲しくない等(34.2%)」と【出産を希望する】方が多い状況です。
- ・出産希望者の出産に対する不安は【経済面】【精神面】をあげており、これらの不安に対する取り組みが重要です。
- ・出産を希望しない方は【結婚するつもりがない】【子育てが大変】【経済的に困難】を理由とする方が多い状況です。

### ■子育てについて

- ・子育てに対する不安・苦労は、子どもの有無に関わらず【教育費などの経済面】が最も多く、【経済的負担の軽減】【小児医療体制・サービスの充実】を望む方が多い状況です。

### ■しごとについて

- ・男性・女性とも【正規雇用】を望む方が多く、男性は製造業、女性は医療・福祉を希望する職種とする方が多い状況です。

### ■居住について

- ・「本市に住みたい(70.0%)・市外で住みたい(24.9%)」と本市での居住継続が多い状況です。市外で住みたい方は【公共交通が不便】を理由とする方が多い状況です。

【愛知県における「みよし市」のすがた】

■ 「まち」に関すること

調査年次	財政力指数	納税義務者 1人あたり 課税対象所得	持ち家比率	住宅空き家率	65歳以上 1,000人あたり 老人福祉施設数	0-5歳 1,000人あたり 保育所数
		(千円)	(%)	(%)	(所)	(所)
2012	2012	2013	2013	2013	2012	2012
<b>みよし市</b>	<b>8位</b> 1.10	<b>2位</b> 4,000	<b>35位</b> 63.0	<b>44位</b> 8.75	<b>17位</b> 0.24	<b>46位</b> 2.44
1位	飛島村 2.13	長久手市 4,038	愛西市 87.4	南知多町 21.71	飛島村 0.84	設楽町 25.81
2位	東海市 1.28	<b>みよし市</b> 4,000	南知多町 84.9	武豊町 19.17	大口町 0.67	豊根村 24.39
3位	刈谷市 1.14	日進市 3,996	新城市 84.0	常滑市 15.94	日進市 0.48	東栄町 19.61
平均	54市町村 0.92	54市町村 3,238	49市町 67.9	49市町 11.94	54市町村 0.21	54市町村 4.60

■ 「ひと」に関すること

調査年次	人口増加率	年少人口割合 (15歳未満人口)	老年人口割合 (65歳以上)	昼夜間 人口比率	核家族世帯 割合	高齢者夫婦 のみの世帯 の割合	高齢者 単身世帯 の割合
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
2010	2010	2010	2010	2010	2010	2010	2010
<b>みよし市</b>	<b>4位</b> 6.84	<b>1位</b> 18.6	<b>53位</b> 13.6	<b>7位</b> 110.1	<b>13位</b> 63.47	<b>50位</b> 7.20	<b>52位</b> 3.58
1位	長久手市 11.89	<b>みよし市</b> 18.6	東栄町 47.8	飛島村 290.9	東郷町 69.50	東栄町 24.58	東栄町 20.03
2位	日進市 7.18	東郷町 大治町 17.5	豊根村 45.8	大口町 143.7	尾張旭市 67.86	豊根村 23.96	豊根村 18.33
3位	常滑市 7.01		設楽町 43.5	豊山町 122.4	知多市 67.04	設楽町 23.15	設楽町 16.47
平均	54市町村 1.65	54市町村 14.6	54市町村 21.8	52市町村 99.4	54市町村 59.46	54市町村 10.74	54市町村 6.93

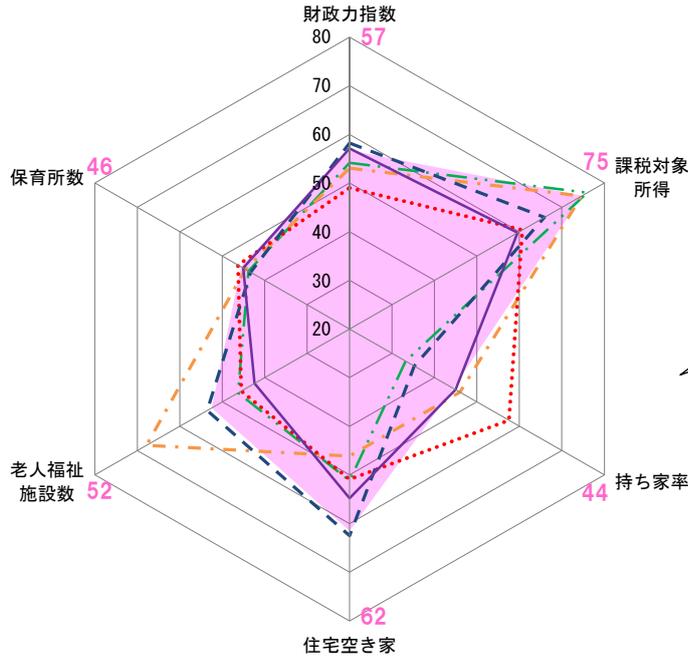
■ 「しごと」に関すること

調査年次	製造品等 出荷額	製造業 事業所数	製造業 従業者数	1事業所あたり 製造品等 出荷額	従業員1人あたり 製造品等 出荷額	完全失業率
	(百万円)	(事業所)	(人)	(百万円)	(万円)	(%)
2012	2012	2012	2012	2012	2012	2010
<b>みよし市</b>	<b>13位</b> 915,844	<b>24位</b> 184	<b>15位</b> 15,750	<b>6位</b> 4,977	<b>7位</b> 5,815	<b>5位</b> 3.2%
1位	豊田市 12,088,856	名古屋市 4,514	豊田市 102,427	田原市 21,372	知多市 26,637	豊根村 1.1%
2位	名古屋市 3,389,586	豊田市 885	名古屋市 101,203	豊田市 13,660	田原市 13,590	飛島村 2.1%
3位	田原市 1,795,251	一宮市 884	刈谷市 44,692	知多市 12,836	豊田市 11,802	設楽町 2.2%
平均	54市町村 741,356	54市町村 330	54市町村 14,248	54市町村 2,490	54市町村 4,214	54市町村 4.6%

出典)地域別統計データベース,総務省統計局/平成25年度住宅・土地統計調査,総務省統計局

【みよし市の通信簿(近隣市町との比較)】

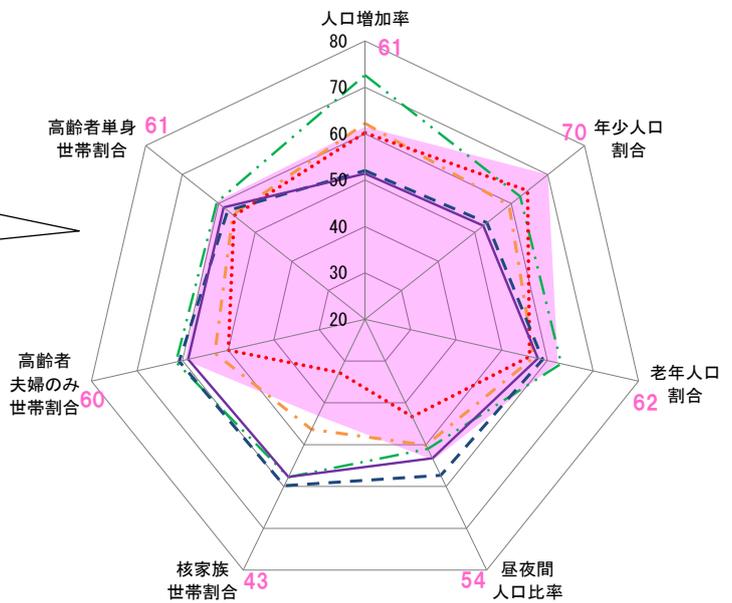
■ 「まち」に関すること



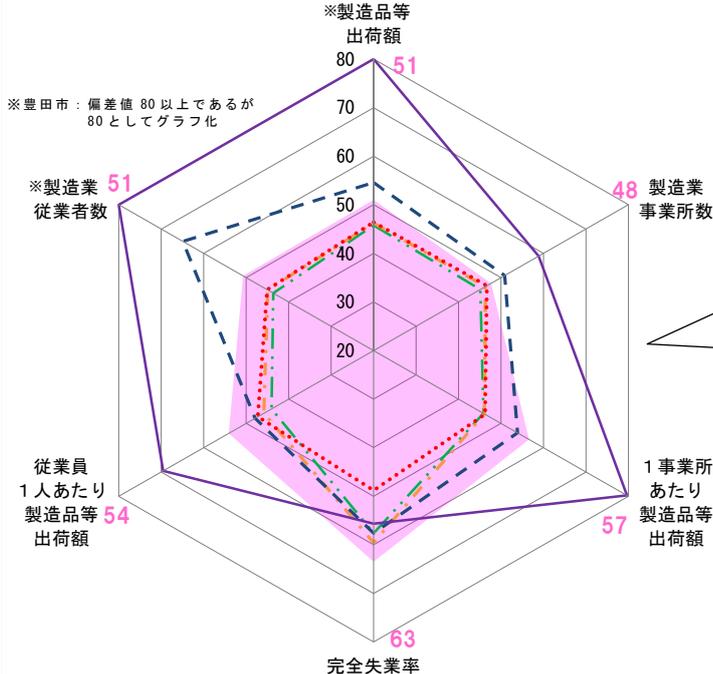
○概ね県平均を上回る成績です。特に「課税対象所得」「住宅空き家率(空き家が少ない)」は好成績です。「持ち家率を高める」「保育所数を増やす」ともっとバランスはよくなるでしょう！  
○近隣市町も同様の傾向にありますが、東郷町は「持ち家率」、日進市は「老人福祉施設数」が好成績といえます！

○概ね県平均を上回る成績です！なお、近隣市町も同様の傾向にあるといえます。  
○若い市であるため、「核家族世帯割合」が高く、将来的に不安要素となる可能性があります。

■ 「ひと」に関すること



■ 「しごと」に関すること



○概ね県平均を上回る成績で、「完全失業率」が低いことが本市の特徴であるといえます！  
○近隣市町については、豊田市を除き、概ね同様の傾向にあるといえます。

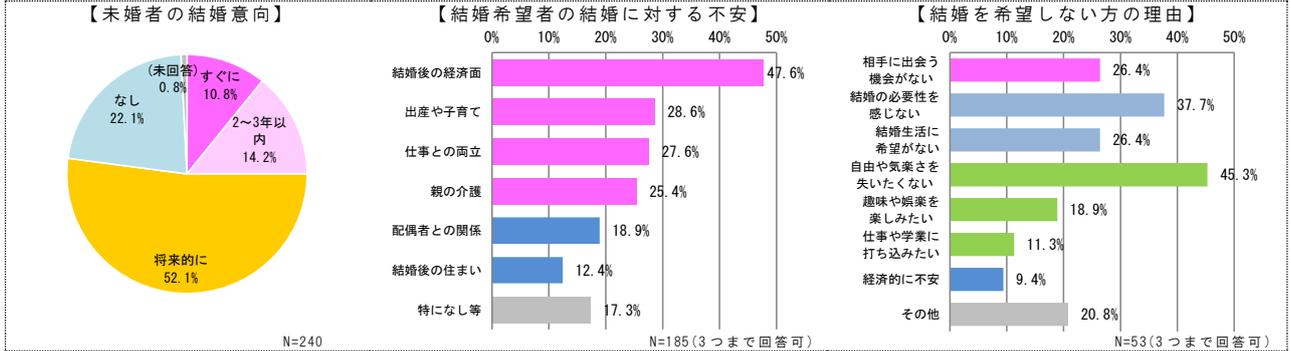
■ みよし市  
 - - - 長久手市  
 - - - 日進市  
 ..... 東郷町  
 - - - 刈谷市  
 ——— 豊田市

注) 各項目横の数値は、みよし市の数値

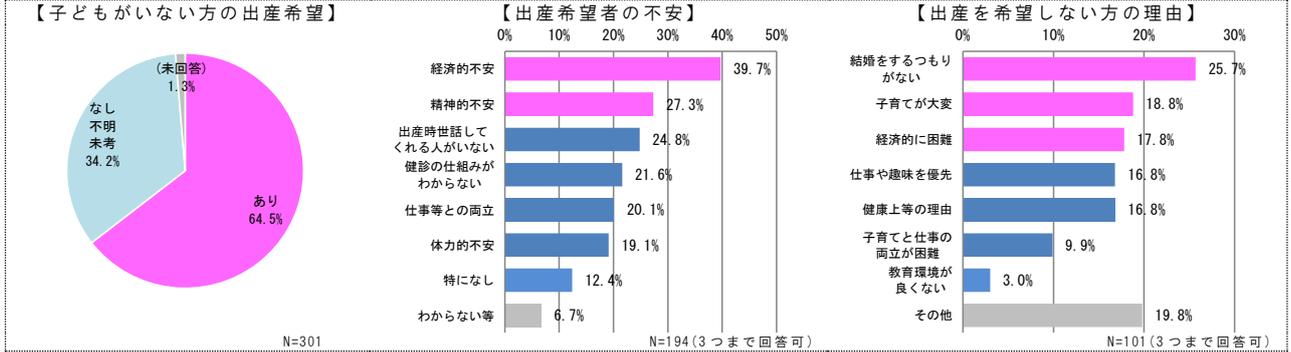
出典) 地域別統計データベース, 総務省統計局/平成 25 年度住宅・土地統計調査, 総務省統計局より県平均を偏差値 50 とし、各市町の偏差値を算出

# 【アンケート調査結果】

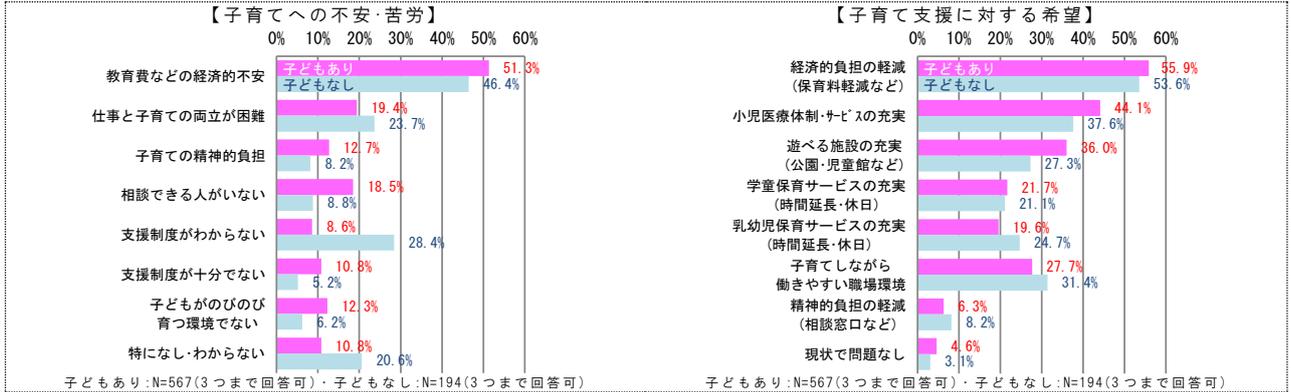
## ■結婚について



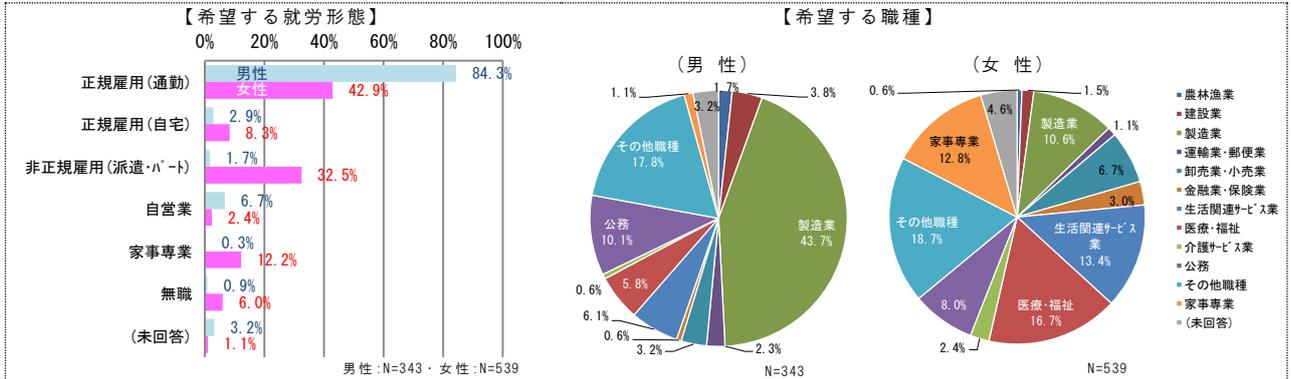
## ■出産について



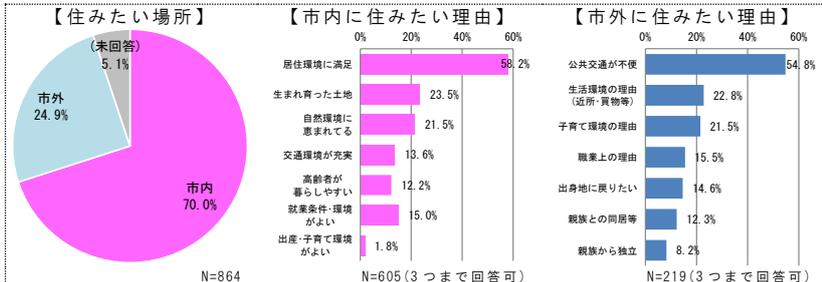
## ■子育てについて



## ■しごとについて



## ■本市での居住について



**【アンケート調査の概要】**

調査日	平成27年9月18日~10月5日
対象	市民2,000名(18~49歳) ・男性1,024名 女性976名 ・住民基本台帳(H27.9.1)より無作為抽出(地区人口及び年齢構成考慮)
回答状況	885通(回収率44.3%) 男性343通 女性539通 不明3通 10代4.3% 20代18.2% 30代32.9% 40代44.5%

## 6. 重視すべき視点

○重要業績評価指標（KPI）などの状況を検証したうえで、本総合戦略の計画期間を延長することとし、令和2年度の基本目標を再設定し、施策の展開を図っていきます。

### I.若い世代の就労・結婚・子育て・教育などの生活環境基盤の整備

- ◇人口減少が進む最大の要因は、若い世代の人口減少です。本市はこの世代の転入が多いため、出生率も高く、人口の増加が今後も続くことが見込まれます。
- ◇ただし、国全体では人口が減少しているため、これまでのような若い世代の転入増を期待する将来展望は、リスクが大きいものと考えます。
- ◇そこで、若い世代が安心して子育てできる環境づくりを基本目標として設定します。

### II.若年層を中心とした生産年齢人口の転入・定住の促進

- ◇生産年齢人口は、人口減少問題及び地域経済に大きな影響を与える年齢層であり、この層の減少に歯止めをかけることが不可欠です。
- ◇本市においては、20歳代後半から30歳代前半は転入超過傾向にある一方、高校や大学の卒業時期の年代を中心とした若年層の転出がみられます。
- ◇そこで、生産年齢人口の転入と定住の促進、特に若年層が本市に戻って暮らしたいと思える環境づくりを基本目標として設定します。

### III.健康寿命の一層の延伸

- ◇「健康で暮らすこと」は全ての人の願いであり、高齢化の進行による自治体財政への影響の視点からも健康寿命を延ばすことは大変望ましいことです。
- ◇平成22（2010）年における本市の平均寿命は、男性80.7歳・女性86.1歳であり、男性は国・県よりも高く、女性はほぼ同水準にあります。なお、愛知県の健康寿命（健康上問題がない状態で日常生活を送ることができる期間）は、全国で男性1位・女性3位です。
- ◇そこで、「健康で暮らすこと」ができるまちをめざすことは、転入や定住の促進につながることも期待されることから、超高齢社会を見据え、誰もが健康に暮らせる環境づくりを基本目標として設定します。

#### 【人口ビジョンでの視点】

若い世代の就労・結婚・子育て・教育  
などの生活環境基盤の整備

若年層を中心とした  
生産年齢人口の転入・定住の促進

健康寿命の一層の延伸

#### 【総合戦略での基本目標】

安心して子育てできる環境づくり

暮らしたいと思える環境づくり

誰もが健康に暮らせる環境づくり

## 7. 基本目標と施策

○前章で設定した基本目標に対し、数値目標を設け、それを実現していくための具体的な施策・事業を提示します。併せて、取り組みの進捗を評価し、的確な進行管理を図るため、施策の項目に対応した重要業績評価指標(KPI)を設定します。

### 《基本目標Ⅰ：安心して子育てできる環境づくり》

#### 安心して子どもを産み・育てることができる環境をみんなで築く

○安心して子育てできる環境づくりに向け、「安心して子どもを産み・育てることができる環境をみんなで築く」をスローガンとし、市民の子育て支援、教育の充実に対する満足度の向上をめざします。

数値目標	基準値 (平成 26 年度)	目標値 (令和元年度)	目標値 (令和 2 年度)
子育て支援の満足度	52.4%	58.0%	58.0%
教育の充実の満足度	56.3%	62.0%	62.0%

### 【基本的施策】

#### ①結婚・出産の希望に関する支援

##### 基本的方向

結婚を希望する若者へのサポートや妊娠・出産に対する支援により、安心して子どもを産むことができる環境づくりを進めます。

○結婚を希望する若い世代の男女の出会いの場を創出し、若者が恋愛・結婚に積極的に向き合えるよう【男女の出会いの場の創出支援】を検討します。

○子どもを産み・育てることを望む市民への支援として【出産に対する支援の拡大】に取り組みます。

#### ■重要業績評価指標(KPI)

KPI	基準値 (平成 26 年度)	目標値 (令和元年度)	目標値 (令和 2 年度)
男女の出会いの場参加者数	—	100 人	100 人
男女の出会いの場参加者による結婚成立組数(累計)	—	15 組	15 組
出生数	656 人	690 人	690 人
婚姻率※	5.7%	6.0%	6.0%

※婚姻率：人口 1,000 人当りの年間婚姻件数

## ②子ども・子育てに関する支援

### 基本的方向

多様化する子育てニーズへの対応や家庭教育に対する支援などにより、保護者が安心かつ楽しんで子育てできる環境づくりを進めます。

- 子どもの健やかな成長の支援や育児不安を軽減するため、【母子保健対策の充実】に取り組みます。
- 子どもにかかる医療費の経済的負担を軽減し、安心して必要な医療を受けられるよう【医療費助成対象の拡大】に取り組みます。
- 子育てに対する不安を軽減するため、就園前の親子が気軽に遊べ、子育てや育児に関する相談もできるなど、【子育てを楽しむ環境づくり】に取り組みます。
- 里帰り出産・育休明けの職場復帰・休日出勤など、さまざまな保育ニーズに対応するため、【保育サービスの充実】に取り組みます。
- 第3子以降の保育料・幼稚園授業料を原則無料化など、【多子世帯の経済的負担の軽減】に取り組みます。
- 家庭における教育の必要性の周知、家庭や学校・地域が相互に連携できる体制づくりなど、【家庭教育の充実】に取り組みます。
- 放課後や休日の児童の身近な居場所づくり、児童に関わる地域活動団体への支援などを通じて、児童が地域社会に参加しやすい環境を整えるなど、【児童の健全育成】に取り組みます。

### ■重要業績評価指標(KPI)

KPI	基準値 (平成26年度)	目標値 (令和元年度)	目標値 (令和2年度)
児童館・集会所 年間延べ利用者数	132,294人	135,000人	135,000人
子育てふれあい広場 年間延べ利用親子組数	21,400組	30,000組	30,000組
休日保育利用者数	134人	650人	650人
子ども会加入率※	84%	90%	90%

※子ども会加入率：小学生人口に占める子ども会加入者数

### ③学校教育の充実

#### 基本的方向

郷土を愛しともに学び合う、心豊かで心身ともに健やかな子どもの育成を目指し、子どもの成長を実感できる学校づくり・教育環境整備を進めます。

- きめ細かな指導を実現するため、35人学級の実施学年の拡大、少人数による指導についての研究、教職員としての資質・能力の育成など、【教育環境の充実】に取り組みます。
- 悩みを抱える児童生徒や保護者を支援する相談体制を整えることはもちろん、児童生徒一人ひとりの良さが発揮できる学校づくりを進め、【魅力ある学校づくり】に取り組みます。
- 安心・安全・快適な学習環境となるよう、市内小中学校の改修及び普通教室等への空調機設置など、【良好な教育環境の整備】に取り組みます。

#### ■重要業績評価指標(KPI)

KPI	基準値 (平成26年度)	目標値 (令和元年度)	目標値 (令和2年度)
少人数学級(35人学級)の 実施状況	小学校 第1～3学年	小学校 第1～4学年	小学校 第1～6学年(維持)
	中学校 第1学年	中学校 第1～2学年	中学校 第1～3学年(維持)
学校評価アンケートで 「学校は楽しい」と回答し た 児童生徒の割合	小学校 92.1%	小学校 95%	小学校 95%
	中学校 89.5%	中学校 92%	中学校 92%
普通教室への 空調機器設置率	—	100%	小学校・中学校 100%(維持)

#### ④仕事と生活の調和に関する支援

##### 基本的方向

仕事と子育ての両立や多様な働き方の選択など、働く親が子育てに喜びを感じ、安心して子どもを育てることができる環境づくりを進めます。

- 育児に不安を抱くことなく仕事と子育てを両立できるよう、親の就労など市民のニーズに合わせた子どもの一時預かりなど、【育児サポートの充実】に取り組めます。
- 地域住民の生活の安定、就労の場の確保及び雇用の促進を図るため、【子育て世代の就労支援】に取り組めます。

##### ■重要業績評価指標(KPI)

KPI	基準値 (平成 26 年度)	目標値 (令和元年度)	目標値 (令和 2 年度)
放課後児童クラブ 年間利用児童数	376 人	480 人	480 人
3 歳未満児入園者数	310 人	430 人	430 人
就労支援セミナーの開催	—	10 回	11 回

## 《基本目標Ⅱ：暮らしたいと思える環境づくり》

### 住んでみたい、住みやすい環境をみんなで築く

○暮らしたいと思える環境づくりに向け、「住んでみたい、住みやすい環境をみんなで築く」をスローガンとし、市民の緑豊かで快適な美しいまちづくり、安全で快適な住環境が整ったまちづくりに対する満足度の向上をめざします。

数値目標	基準値 (平成26年度)	目標値 (令和元年度)	目標値 (令和2年度)
緑豊かで快適な美しい まちづくりの満足度	68.4%	74.0%	74.0%
安全で快適な住環境が整った まちづくりの満足度	57.5%	63.0%	63.0%

#### 【基本的施策】

##### ①多様な世代を誘引する仕組みづくり

###### 基本的方向

本市に住みたい・住んでよかった・住み続けたいと思えるような環境づくりを進めます。

- 広く本市への移住・定住の門戸を開き、さらには持ち家率を高めていくため、住宅に関する相談窓口の設置、空き家対策、結婚や多世代同居など新たな住宅取得に対する各種税の軽減措置や改修費用の助成など、【住宅取得に関する支援】を検討します。
- 本市の高齢化率は他自治体に比べ低いものの、一時期に大規模住宅地開発が行われたことにより同世代が大量に転入したため、高齢化が一気に進むことが見込まれるため、持続可能なまちとなるよう、子育て世帯など新たな世代の転入をめざし、【世代循環の仕組みづくり】を検討します。
- 本市への移住や就職を促進するため、地域への就職と暮らしに関する情報を一元的に収集・提供する「愛知県地域しごと支援センター」の活用、また就労の場の確保と雇用の促進を図るため、「みよし市就労支援センター」との連携による就労支援セミナーの開催など、【雇用対策の充実】に取り組みます。
- 市内企業の事業規模拡大や市外からの企業誘致のため、企業進出が可能な用地に関する情報収集や用地の拡張など、【企業誘致の推進】に取り組みます。
- 新たな製品・サービスを提供する創業、第二次創業(新事業への展開)など、【創業の支援】に取り組みます。
- 企業の設備投資や産学連携による研究開発への支援を充実し、事業の高度化・効率化等による【企業の競争力の強化の支援】に取り組みます。

■重要業績評価指標(KPI)

KPI	基準値 (平成26年度)	目標値 (令和元年度)	目標値 (令和2年度)
住宅着工件数	379棟	380棟	380棟
転入・転出人口比率 <sup>※</sup>	99.6%	102.0%	102.0%
起業・創業件数(累計)	0件	3件	25件
新たな進出企業数(累計)	0件	2件	2件

※転入・転出人口比率：転入者数/転出者数

②公共交通ネットワークの確保

基本的方向

市内の交通空白地帯の解消のため、鉄道や路線バス、タクシーなど異なる交通手段の連携強化により、公共交通の利便性の向上を推し進めます。

- 本市のコミュニティバスである「さんさんバス」を公共交通の基幹と位置付け、市民の交通手段として重要な役割を果たすよう【公共交通の利便性の向上】に取り組みます。
- 市内における公共交通相互間の乗継の利便性を高め、さらには近隣自治体と連携してコミュニティバスを運行するなど、公共交通の利用環境の向上を図り【公共交通への利用転換】に取り組みます。

■重要業績評価指標(KPI)

KPI	基準値 (平成26年度)	目標値 (令和元年度)	目標値 (令和2年度)
さんさんバス 利用者数	269,786人	272,000人	301,000人
公共交通 利用者数	名鉄バス利用者 <sup>※</sup>	40,513人	42,000人
	駅乗降者数 (黒笹駅・三好ヶ丘駅)	4,257,538人	4,410,000人
公共交通対策の 満足度	40%	55%	55%

※名鉄バス利用者：(イオン知立)愛教大線+イオン赤池線の合計

### ③安全・安心なまちづくり

#### 基本的方向

自然災害に強く、犯罪や交通事故の少ない安全なまちを目指し、安全・安心に暮らせる環境づくりを進めます。

- 建築物の耐震化の促進や災害時における情報伝達手段の充実、緊急輸送道路の確保と近年頻発するゲリラ豪雨への対応を含めた河川や下水道の整備、自主防災組織の活性化など、「自助・共助・公助」による【防災力・減災力の向上】に取り組めます。
- 昼夜の防犯パトロールの実施、防犯カメラ・防犯灯の設置推進、地区自主防犯パトロール隊への支援など、【防犯力の向上】に取り組めます。
- 誰もが安全・安心に移動できるよう、歩車道境界ブロックや道路照明灯の整備をはじめ、幹線道路でのバリアフリー化や生活道路での自動車の速度抑制方策など、【交通安全対策の推進】に取り組めます。
- 構築物をはじめインフラなどすべての公共施設を調査・評価するとともに、適正配置のあり方を含めた維持管理のさらなる効率化や更新費用の低減など、【公共施設配置等の最適化・長寿命化】を検討します。

#### ■重要業績評価指標(KPI)

KPI	基準値 (平成 26 年度)	目標値 (令和元年度)	目標値 (令和 2 年度)
防災訓練参加率	17.2%	20.0%	24.0%
防災ラジオ普及台数	—	1,000 台	2,000 台
耐震診断実施件数(累計)	526 件	930 件	930 件
耐震改修補助件数(累計)	119 件	270 件	270 件
防犯灯設置数	2,200 基	2,350 基	2,390 基
安全のみどり線 延長距離	7,772m	17,000m	17,000m

#### ④魅力と活力のあるまちづくり

##### 基本的方向

みよしの歴史文化や社会資源を生かしながら、愛着と誇りをつくり培い、魅力と活力のある環境づくりを進めます。

- 他の自治体との差別化を図り、本市への移住・定住を促進するため、市内にある地域資源を活用した魅力の発信など、【シティプロモーションの推進】に取り組めます。
- 中心市街地の活性化を推進するため、人が行きかう回遊性の向上を図る道路の整備や空き店舗などの有効活用など、【まちの魅力の向上】を検討します。
- 名鉄豊田線三好ヶ丘駅周辺のにぎわいや高齢者のいきがい創出のため、多世代の地域住民が交流・活動できる拠点として、地元農産物の直売や加工、市民体験農園などで構成される【総合交流拠点の整備】を検討します。
- 地域の課題解決や地域の活性化につながる活動を行うコミュニティ推進協議会を支援するほか、これらの地域活動の拠点となる地区拠点施設の整備など、【まちの活力の向上】に取り組めます。
- 市内にある東海学園大学や県立三好高校と連携を図り、その知的・人的資源を活用するなど、市内にある資源を活かした【地域づくり活動の活性化】に取り組めます。
- 地域の活性化のため、市民と行政の連携を図り、まちづくりの担い手となる人材の育成など、【協働のまちづくり】に取り組めます。
- 地域で生産された農作物を地域内で消費拡大するため、地元産の新鮮な農作物を消費者に直接販売する「産地直売」の促進など、【地産地消の推進】に取り組めます。
- 本市には、柿やナシ、ブドウをはじめ多くの農産物があるが、他の地域との差別化を図り、みよし産であることを表示し、【みよし産農産物のブランド化の推進】に向けた取り組みを検討します。

##### ■重要業績評価指標(KPI)

KPI	基準値 (平成 26 年度)	目標値 (令和元年度)	目標値 (令和 2 年度)
シティプロモーション動画 閲覧数(累計)	—	4,000 回	35,300 回
NPO 法人数	13 法人	18 法人	18 法人
図書館来館者数	80,556 人	289,000 人	289,000 人

## 《基本目標Ⅲ：誰もが健康に暮らせる環境づくり》

### 子どもから高齢者まで主体的な健康づくりができる環境をみんなで築く

○誰もが健康に暮らせる環境づくりに向け、「子どもから高齢者まで主体的な健康づくりができる環境をみんなで築く」をスローガンとし、市民の福祉対策の充実、保健・医療対策の充実に対する満足度の向上をめざします。

数値目標	基準値 (平成26年度)	目標値 (令和元年度)	目標値 (令和2年度)
福祉対策の充実 の満足度	54.7%	60.0%	60.0%
保健・医療対策の充実 の満足度	66.3%	72.0%	72.0%

### 【基本的施策】

#### ①健康づくりの支援

##### 基本的方向

市民誰もが健康でいきいきと、住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくりを進めます。

- 市民が楽しみながら健康づくりや体力づくりができるよう【健康づくりの推進】に取り組みます。
- 今後の高齢化の進展に備え、健康意識の高揚、栄養・適正な食生活の推進を図るなど、市民の【健康寿命の延伸】に取り組みます。
- 高齢者が要介護状態とならないよう、健康づくり活動への支援や福祉・医療と介護の連携強化など、【介護予防・認知症予防の推進】に取り組みます。
- 高齢者だけではなく、子どもや子育て家庭、障がい者など、地域で生活する全ての市民が安心して生活できる地域を目指し、【地域包括ケアシステムの構築】に取り組みます。
- 子どもから高齢者・障がい者まで、みんながスポーツをすることで、楽しく豊かな人生が送れるよう【スポーツによる健康づくり】に取り組みます。
- 総合公園から街区公園まで、それぞれの公園の特性を生かし、市民が気軽に運動できるよう、公園やスポーツ施設の計画的な改修及び環境整備など、【良好な運動環境づくり】に取り組みます。

■重要業績評価指標(KPI)

KPI	基準値 (平成 26 年度)	目標値 (令和元年度)	目標値 (令和 2 年度)
要介護(要支援)認定を受けていない高齢者の割合	88.2%	89.0%	89.0%
地域包括支援センターの設置数	1カ所	3カ所	3カ所
総合体育館トレーニングルームの年間利用者数	4,213人	10,000人	21,000人
都市公園の供用面積	51.81ha	55ha	55ha

②生きがいつくりの支援

基本的方向

市民誰もが生涯を通じ、いつでもどこでも生きがいを持って楽しく暮らせる環境づくりを進めます。

- 市民が参加できる文化展・公募美術展、市民ニーズに即した講座の開催など、【生涯学習の支援】に取り組みます。
- 高齢者が地域での社会貢献や培った知識・経験を生かした活動をするための場や機会の支援など、【高齢者の活躍の場づくり】に取り組みます。
- 生活に問題を抱える人が安心して暮らせるよう、問題解決のための手助け・支援を行う福祉ボランティアを養成するなど、ボランティアに関する情報収集と発信、活動の調整・相談を行い、【ボランティア活動の支援】に取り組みます。

■重要業績評価指標(KPI)

KPI	基準値 (平成 26 年度)	目標値 (令和元年度)	目標値 (令和 2 年度)
生涯学習 講座数及び受講者数	160 講座 2,563 人	200 講座 4,500 人	200 講座 4,500 人
生涯学習活動 団体数及び人数	96 団体 1,914 人	100 団体 2,000 人	120 団体 2,200 人
発表会等行事参加 団体数及び参加者数	115 団体 9,576 人	120 団体 10,000 人	120 団体 13,000 人
福祉ボランティアの 活動件数	314 件	330 件	330 件
シルバー人材センターの 登録会員数	367 人	405 人	405 人

# 【施策の体系】

施策	主な取り組み
<b>I 安心して子育てできる環境づくり</b>	
①結婚・出産の希望に関する支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆男女の出会いの場の創出支援               <ul style="list-style-type: none"> <li>□男女の出会いの場の創出支援</li> </ul> </li> <li>◆出産に対する支援の拡大               <ul style="list-style-type: none"> <li>■妊産婦・乳幼児健康診査事業</li> <li>■不妊治療費助成</li> </ul> </li> </ul>
②子ども・子育てに関する支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆母子保健対策の充実               <ul style="list-style-type: none"> <li>■乳幼児健康診査</li> </ul> </li> <li>◆医療費助成対象の拡大               <ul style="list-style-type: none"> <li>■子ども医療費支給事業</li> </ul> </li> <li>◆子育てを楽しむ環境づくり               <ul style="list-style-type: none"> <li>■子育て支援センターの開設</li> <li>■一時保育・リフレッシュ保育の利用促進</li> <li>■ファミリーサポートセンターの託児利用促進</li> <li>□子育てふれあい広場の充実</li> </ul> </li> <li>◆保育サービスの充実               <ul style="list-style-type: none"> <li>■保育園での広域入所、土曜・休日保育など</li> <li>□3歳未満児入園枠の拡大</li> <li>□保育園施設・設備の大規模改修</li> </ul> </li> <li>◆多子世帯の経済的負担の軽減               <ul style="list-style-type: none"> <li>□第3子の保育料無料化</li> <li>□第3子の幼稚園授業料の原則無料化</li> </ul> </li> <li>◆家庭教育の充実               <ul style="list-style-type: none"> <li>■いきいき子育て講座の開催</li> <li>■家庭教育学級の開催</li> <li>■思春期家庭教育講座の開催</li> <li>■家庭教育地域活動への支援</li> <li>■PTA活動への支援</li> </ul> </li> <li>◆児童の健全育成               <ul style="list-style-type: none"> <li>■児童の遊び場での活動支援</li> <li>■子ども会・子育て支援クラブ活動への支援</li> </ul> </li> </ul>
③学校教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆教育環境の充実               <ul style="list-style-type: none"> <li>■少人数学級・指導の推進</li> <li>■教職員研修体制の充実</li> </ul> </li> <li>◆魅力ある学校づくり               <ul style="list-style-type: none"> <li>■悩みを抱える児童生徒・保護者への支援</li> <li>■学校間連携による教職員の資質向上</li> </ul> </li> <li>◆良好な教育環境の整備               <ul style="list-style-type: none"> <li>■学校施設・設備の大規模改修</li> <li>■普通教室等への空調機設置</li> </ul> </li> </ul>
④仕事と生活の調和に関する支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆育児サポートの充実               <ul style="list-style-type: none"> <li>■延長保育等の利用促進</li> <li>□病児・病後児預かり施設の整備</li> <li>□放課後児童クラブの利用対象・開所時間の拡大</li> <li>□子育て世帯への「家事ヘルパー」の派遣</li> </ul> </li> <li>◆子育て世代の就労支援               <ul style="list-style-type: none"> <li>□就労支援セミナーの開催</li> </ul> </li> </ul>

■：総合計画実施計画と連携を図る取り組み  
□：総合戦略としての新たな取り組み

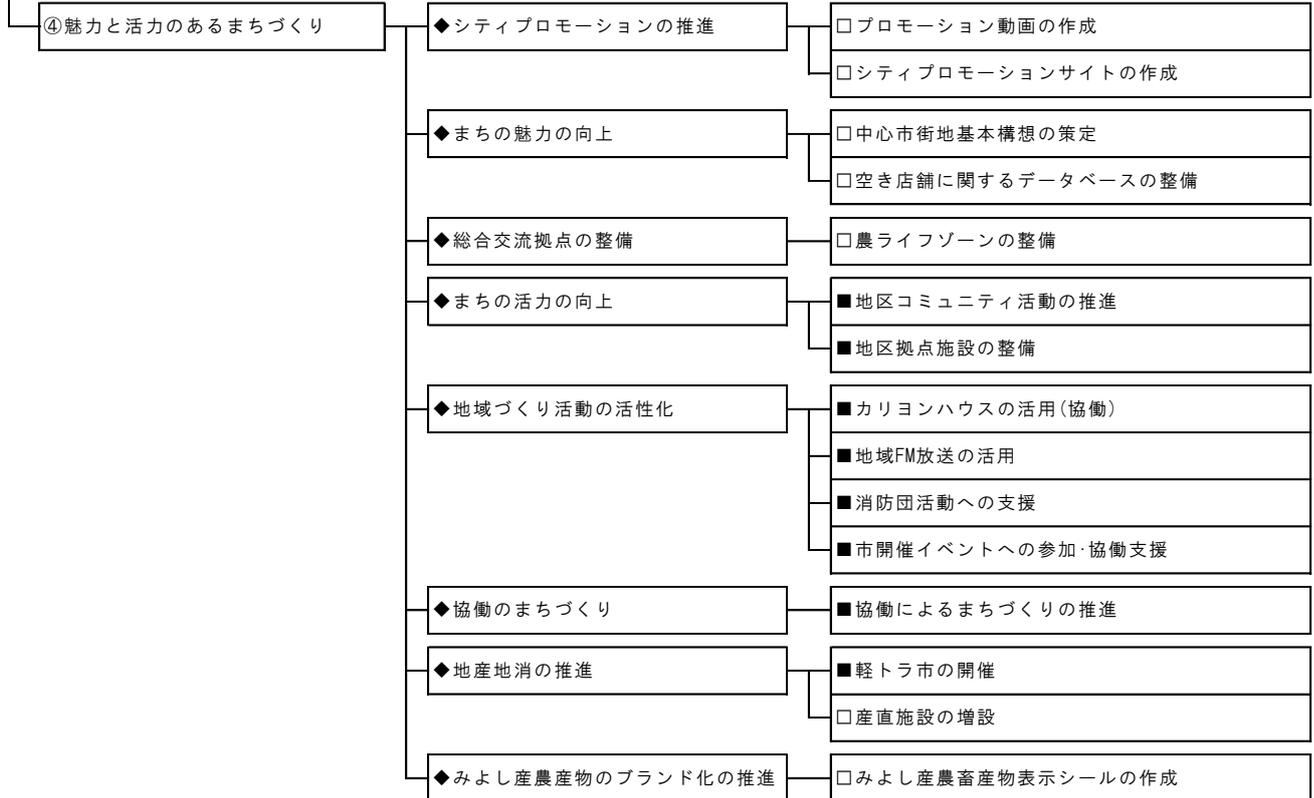
※総合戦略としての新たな取り組みの概要

主な取り組み	概要・イメージ
男女の出会いの場の創出支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者を対象に、結婚に関する意識向上の機会を提供</li> <li>・独身者を対象に、出会いの場を提供</li> </ul>
子育てふれあい広場の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てふれあい広場設置箇所数を増加(H29年度4カ所)</li> </ul>
3歳未満児入園枠の拡大 保育園施設・設備の大規模改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化等による施設・設備の更新に合わせ、3歳未満児の入園数の拡大にも対応できるような施設設備の改修</li> </ul>
第3子の保育料無料化 第3子の幼稚園授業料の原則無料化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園：第3子は無料</li> <li>・幼稚園：第3子は年額30.8万円までは無料</li> </ul>
病児・病後預かり施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民病院敷地内の病院設置保育施設と一体的に整備</li> <li>・運営はファミリーサポート事業の一環として市が実施</li> </ul>
放課後児童クラブの利用対象・開所時間の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用対象：4年生⇒6年生に拡大</li> <li>・開所時間：平日18:00⇒18:30、休日8:00⇒7:30に拡大</li> </ul>
子育て世帯への「家事ヘルパー」の派遣	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護世帯、障がい者世帯同様、家事を一時的に幫助する人材を派遣(核家族共働き世帯対象)</li> </ul>
就労支援セミナーの開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みよし市就労支援センターにおいて、若者を対象に面接対策や自己PRに関するセミナー、女性を対象に再就職に向けた心構えに関するセミナーを開催</li> </ul>

施策	主な取り組み		
<b>II 暮らしたいと思える環境づくり</b>			
①多様な世代を誘引する 仕組みづくり	◆住宅取得に関する支援	<input type="checkbox"/> 住宅取得に関する情報発信 <input type="checkbox"/> 住宅取得に関する経済的支援 <input type="checkbox"/> 空き家に関するデータベースの整備	
	◆世代循環の仕組みづくり	<input type="checkbox"/> 世代間住み替えに関する支援	
	◆雇用対策の充実	<input type="checkbox"/> 愛知県しごと支援センターへの情報提供 <input type="checkbox"/> 就労支援セミナーの開催	
	◆企業誘致の推進	■企業立地用地の確保	
	◆創業の支援	■ベンチャー起業家支援奨励事業	
	◆企業の競争力の強化の支援	■設備投資及び研究開発への支援	
	②公共交通ネットワークの確保	◆公共交通の利便性の向上	■さんさんバスの運行 <input type="checkbox"/> 三好ヶ丘駅前広場の再整備
		◆公共交通への利用転換	■公共交通ネットワークの構築 <input type="checkbox"/> 地域公共交通網形成計画の策定
		◆防災力・減災力の向上	■住宅の耐震診断・改修に対する支援 ■準用河川の改修 ■雨水排水施設の整備 ■自主防災組織の支援 ■ハザードマップの作成 <input type="checkbox"/> 防災ラジオの整備・普及 <input type="checkbox"/> 河川水位観測システムの整備
	③安全・安心なまちづくり	◆防犯力の向上	■防犯灯の設置 ■防犯カメラ設置の支援
		◆交通安全対策の推進	■交通安全施設の整備 ■幹線道路等の整備 ■生活道路の整備 ■通学路の整備
		◆公共施設配置等の最適化・長寿命化	<input type="checkbox"/> 公共施設等総合管理計画の策定

施 策	主な取り組み
-----	--------

## II 暮らしたいと思える環境づくり



■：総合計画実施計画と連携を図る取り組み  
□：総合戦略としての新たな取り組み

### ※総合戦略としての新たな取り組みの概要

主な取り組み	概 要・イメージ
住宅取得に関する情報発信	移住・交流者向けの物件情報を収集・蓄積し、ウェブサイト等でそれらの物件情報を公開
住宅取得に関する経済的支援	移住・定住(UJターン)の促進に向けた「住宅購入助成」「改築・改修費助成」「住宅家賃助成」「住宅ローン利子補給」「住宅地購入助成」などの検討
空き家に関するデータベースの整備	空き家特別措置法を踏まえた対策検討を行っていくための基礎資料としてのデータベースの整備
世代間住み替えに関する支援	空き家の有効利用手段等を含め、世代循環がスムーズに行える方策を検討
愛知県しごと支援センターへの情報提供	本市の中小企業の求人情報等を提供
就労支援セミナーの開催	みよし市就労支援センターにおいて、若者を対象に面接対策や自己PRに関するセミナー、女性を対象に再就職に向けた心構えに関するセミナーを開催
市内事業者への再投資への支援	市内に長年立地する事業者への設備投資等への助成
三好ヶ丘駅前広場の再整備	三好ヶ丘駅前周辺魅力づくり基本構想に基づく駅前広場再整備
地域公共交通網形成計画の策定	市内におけるバス・タクシー・鉄道などの公共交通網、また近接市町との公共交通の連携により望ましい姿を目指す計画の策定
MONET Technologies(株)との連携	MONET Technologies(株)との連携を図り、児童発達支援事業への展開をはじめとする様々な分野との連携を図る。
防災ラジオの整備・普及	防災行政無線に連動し、電源が自動的にONとなるラジオ放送の仕組みの構築及び防災ラジオの販売
河川水観測システムの整備	監視カメラで河川状況をホームページで確認できる仕組みを構築
公共施設等総合管理計画の策定	公共施設等の全体状況を把握し、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うための計画の策定
プロモーション動画の作成	地域の魅力を発掘し、地域内外に効果的に発信するためのプロモーション動画の作成
シティープロモーションサイトの作成	地域の魅力を発掘し、地域内外に効果的に発信するためにホームページ上にシティープロモーションに特化したサイトを作成
中心市街地基本構想の策定	新たな人の流入を見込んだ、中心市街地(サンライブ・アイモール・市役所周辺)の基本構想の策定
空き店舗に関するデータベースの整備	空き家特別措置法を踏まえた対策検討を行っていくための基礎資料としてのデータベースの整備
農ライフゾーンの整備	三好ヶ丘駅前周辺魅力づくり基本構想に基づく農ライフゾーンの整備
産直施設の増設	地産地消及び消費拡大に向け、産直施設や大型スーパー内産直コーナーを増設
みよし産農畜産物表示シール作成	JAによる共同出荷品や産直施設での直売品に「みよし産表示シール」を貼付

施 策	主な取り組み
-----	--------

### III 誰もが健康に暮らせる環境づくり



■：総合計画実施計画と連携を図る取り組み  
□：総合戦略としての新たな取り組み

#### ※総合戦略としての新たな取り組みの概要

主な取り組み	概 要・イメージ
健康マイレージ事業	・健康づくりにつながる取り組みの実践でマイレージ(ポイント)を獲得 ・一定以上のマイレージ獲得者には、県内協力店で特典が受けられる優待カードを交付
健康度評価事業	・総合体育館トレーニングルームを利用し、一人ひとりの運動習慣・体力に応じた運動メニューを作成
福祉・医療・介護に関する長期構想の策定	・20年先を見据え、長期的視野に立った福祉・医療・介護の総合的な指針となる「みよし市福祉・医療・介護長期構想」の策定

みよし市まち・ひと・しごと創生総合戦略【改定履歴】

版数	発行日	主な改定内容（概要）
第2版	令和2年3月	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 2-2 第2次みよし市総合計画の位置付けを記載（P2）</li> <li>2 3 総合戦略延長による計画期間の整理（P2）</li> <li>3 5-1 第2次みよし市総合計画及び国の第2期総合戦略の将来像を追記（P4）</li> <li>3 重要業績評価指標(KPI)の最終目標値を令和2年度に変更（P10～19）</li> <li>4 MONET Technologies（株）との連携を明記（P23）</li> <li>5 改元による字句の整理（全体）</li> </ol>